

Mini☆Chika

since 1977

近永公民館報
「ミニちかなが」
3・4月号(2021年度)

わんぱく学級活動記録



モルックを
自作



真剣そのもの



正確に両手投げ！

3月5日、わんぱく学級にて「モルック体験会」を行いました。
モルックはフィンランド発祥の棒倒しのスポーツです。スクワットの
ようなしゃがむ動作を意味する言葉であり、カレリア地方に古くから伝
わるゲームであるkyykkä(キykkä)がモルックの起源となります。
投げる棒とされるモルックと倒すピンのスキッルの2つの道具を
使った誰でも簡単にできるスポーツです。モルックの競技人口は、道具
やルールの手軽さから年々増加しています。モルックのルールは、モル
ックを用いてスキッルを倒した本数やスキッル上の数字が得点に加算
され、先に50点ちょうどに到達したチームが勝利の簡単なルールです。



がんばれー！



待ち時間で作業



20歳の自分は〇〇〇〇



なんて書こうかな？

わんぱく学級生は初め
て体験するモルックで
したが、ルールがわ
かってくると「もう1
回試合したい！」とい
う声も多く聞かれ、白熱した試合を
展開していました。皆さんも、体験
してみませんか？モルックは近永公
民館でも貸出しできますので、お気
軽にお声かけください♪



青年団活動写真



わんぱく学級生のために、青年団がお菓子を手作りしてくれました！

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、わんぱく学級においては学級生による調理と食事を中止しております。

普段であれば、一緒に調理して楽しむ機会なのですが…。子ども達にとって今年度最後のわんぱく学級。少しでも楽しんでもらいたいと、青年団が快くお菓子づくりに協力してくれました。コロナウイルスの感染状況はなかなか収束する兆しも見えませんが、青年団も試行錯誤しながら、できる範囲で活動を楽しんでいるようです。地域の皆さんも街中で見かけたら声をかけてあげてくださいね♪instagramで青年団の活動を見ることができます。是非、ご覧ください。

鬼北町青年団Instagram



男性陣もやればできる！



美味しくできるかな？



ひな祭り



地元の皆さん、高校生、小学生、青年団で、お雛様を飾り付けしました。近永駅周辺にて、3月19日(土)～4月3日(日)まで雛飾りが展示されます。商店街から近永駅まで、お雛様を見ながら散歩をしてみたいはいかがでしょうか♪



豆知識

ひな祭りの由来は？

季節の節目である「節」の時期は、昔から邪気が入りやすいといわれていました。そのため、五節句のひとつである「上巳の節句」では、川で身を清める習慣がありました。それが日本に伝わったことで、紙などで作った人形で体をなでることによって穢れを人形に移し、それを川に流して邪気払いをする行事へと変化していきました。

人形を流して邪気払いをするこの風習が、ひな祭りの行事である「流し雛」のルーツであるといわれています。そして、時代とともに人形作りの技術が発展し、立派な人形が作られるようになったことによって、川に流すのではなく飾る習慣へと変化していきました。これがひな人形となり、貴族の中で流行っていたおままごと遊び「ひひな遊び」と合わさり、ひな祭りの形ができあがりました。江戸時代に入って女の子の健やかな成長としあわせを願うための行事として定着し、今の形式に至りました。ひな祭りが3月3日に定められたのも、江戸時代の頃だといわれています。ひな祭りが定着した江戸時代頃から、ひな人形もより豪華になっていきました。

因みに、愛媛県は4月3日に雛祭りを行う地域が多いといわれています。これを「月遅れのひな祭り」というのだそうです。※月遅れとは、旧暦のある月日に行っていた行事を新暦の日に行わず、1ヶ月遅らせることを言います。





一年のふりかえり



昨年4月に近永公民館に着任となり、早くも1年が過ぎ去ろうとしています。

2020年1月に、日本で最初のコロナウイルス感染者が確認されてから2年という月日が経過しました。この間、世界中のあらゆるライフスタイルに大きな変化が生じました。外出時はマスクを着けるのが当たり前となり、あらゆる施設には消毒用のアルコールが配置されるようになりました。当たり前にできていたことができなくなったことで、大きなストレスを抱えることとなった日常。未知のウイルスが私たちの日常を変えてしまいました。もちろん、社会の変化により急速に普及していった産業もあるなど、全てが悪いイメージばかりではないのは確かです。ワクチンの製造、近い将来では特効薬も認可されるでしょう。少しずつではありますが、明るい兆しが見え始めているように感じます。

公民館事業、コミュニティ事業については、なかなか満足に展開できない状況が続いています。昨年度に引き続き、運動会、納涼大会などの主要イベントは中止となり、地域の皆さんの交流の場はほとんどなかったといっても過言ではありません。地域の抱える様々な課題を解決するためには、コミュニティ活動が不可欠です。近所の様子、子どもたちの登下校、一人暮らしの高齢者、災害時の助け合い、どれを取っても人と人とのつながりが鍵となります。敬老行事の代替事業として、対象の方に今年度もお弁当を配送させていただきました。昨年度よりも多くの皆様にご要望いただき、喜んでいただけたように思います。役場職員が訪問させていただいた中で、普段の生活や、健康状況などをお話いただいたこともあったようです。式典は開催できなかったのですが、お弁当を楽しみにいただいている方も多く、普段会話することのない人と話す機会ができたことを喜んでくださる方もいたと聞いています。事業が思うように展開できないながらも、中でも試行錯誤して取り組むことの大切さを学ぶ機会となりました。

文化芸術の側面では、学校の文化祭や地域の文化事業も規模縮小や中止を余儀なくされていました。そこで、町内全公民館の主催事業としてオンラインによる音楽祭を企画し実施致しました。鬼北町では

初めての試みとなりましたが、出演いただいたアーティストの皆様には、「田舎でも、工夫すれば活動の幅を広げることができる」「また、機会を作ってほしい」などの声をいただきました。新しいチャレンジとなりましたが、鬼北町【公式】YouTubeにおいても2,000視聴回数を超える過去最高となり、一つの成果を残せたように思います。芸術文化に触れる機会を少しでも増やすことができればという思いもあり、外出がままならない中、自宅にいながら鑑賞できる環境を構築できたことは、今後のイベント事業に生かせると考えます。一方で、完全オンラインという提供方法は、インターネット環境の整備されていないご自宅や高齢者層にとっては、関心が低いものになってしまうことを忘れてはなりません。様々なニーズにお応えできるように、これからもアイデアを出しながら事業を展開していきたいと思っています。

公民館主事として過ごしておりますと、公民館へお越しいただく方から様々なお話をいただきます。その中には本当に他愛もない世間話から、難しい地域課題まで本当に様々であります。普段気づかなかったことを本当に多く気づかせていただいているように感じます。世界に目を向ければ、ウクライナ情勢など緊迫した状況が続いています。今後、経済にも波及することは間違いないでしょう。私たちの生活もより厳しくなることが容易に想像され、コロナ禍と相まってさらに複雑で混沌とした時代が続くように感じています。ウクライナの人々に、一日でも早い安息の日々が訪れることを願っています。公民館としてできることは限られますが、少しでも地域の皆様が心を和ませることができるよう事業を展開していきたいと考えています。今後とも、公民館事業にご協力をよろしくお願い致します。

秋、北宇和高校の学生が授業でマラソンをしている傍を通りかかりました。私の車に気づいた学生が、友達の腕を持って引き寄せ「危ないぞ」と声かけしていました。何気ないことではありますが、友人を思いやるその姿になんとも温かい気持ちになりました。子どもたちが優しい心に育っていることが感じられるそのシーンが、心に残っています。

近永公民館主事 岡崎

図書新刊 入りました♪



近永公民館の貸出図書。
新刊のご案内です。



ミトンとふびん 吉本ばなな

愛は戦いじゃないよ。愛は奪うものでもない。そこにあるものだよ。

たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて、生きていく——。凍てつくヘルシンキの街で、歴史の重みをたたえた石畳のローマで、南国の緑濃く甘い風吹く台北で。今日もこうしてまわりつづける地球の上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよろこびにあたたかく包まれる全6編からなる短篇集。



集英社文庫チャンネルより



旅屋おかえり 原田マハ

売れないタレント・おかえりこと丘えりかは、依頼人に代わり旅をする「旅の代理人」。秋田での初仕事を終え、次なる旅先は北海道—ある動画に映っている人物が、かつての恋人か確かめてほしいという依頼だった。依頼人には、初恋を巡るほろ苦い過去があつて…。『旅屋おかえり』未収録の、幻の札幌・小樽編が待望の書籍化。北海道旅エッセイ&おかえりデビュー前夜を描いた漫画も収録した特別編！

スモールワールズ 一穂ミチ

ままならない現実を抱えて生きる人たちの6つの物語。夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。人知れず手紙を交わしつつける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。第74回日本推理作家協会賞短編部門候補作「ピクニック」収録。



一穂ミチ
『スモールワールズ』刊行記念

特別ショートストーリー

「回転晚餐会」

声優・櫻井孝宏さんによる朗読でお楽しみください。

講談社

TREE 編集部チャンネルより

